

令和4年度
国有林モニターアンケート調査結果
(第1回)



令和4年8月
中部森林管理局

はじめに

国有林モニター制度は、より多くの国民の皆様身近な存在として国有林を感じていただけるよう、広く一般から募り、国有林野事業についての理解を深めていただくと同時に幅広いご意見等をいただき、これらのご意見を管理経営に役立てることで、「国民の森林」としてふさわしい国有林野の管理を行うことを目的としています。

令和4年度から2年の任期でお願いしました国有林モニターの皆様30名に国有林モニターアンケートを実施し、28名の方から回答をいただきましたので、その結果について取りまとめました。なお、自由記述の理由、意見につきましては、一部整理をして掲載しております。

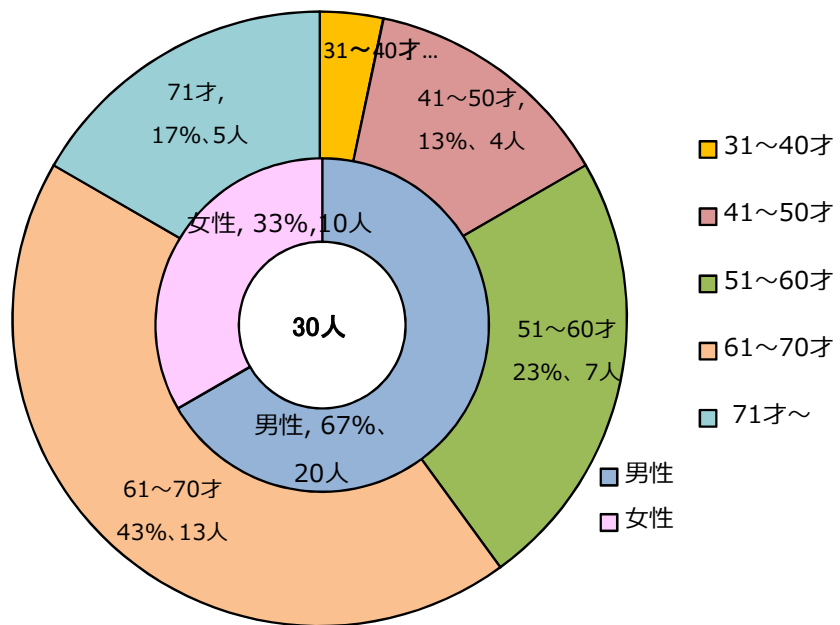
◎ 国有林モニターの構成

(1) 性別構成

男性	20人
女性	10人
計	30人

(2) 年齢構成

	男性	女性
31～40才	0人	1人
41～50才	2人	2人
51～60才	3人	4人
61～70才	11人	2人
71才～	4人	1人
計	20人	10人

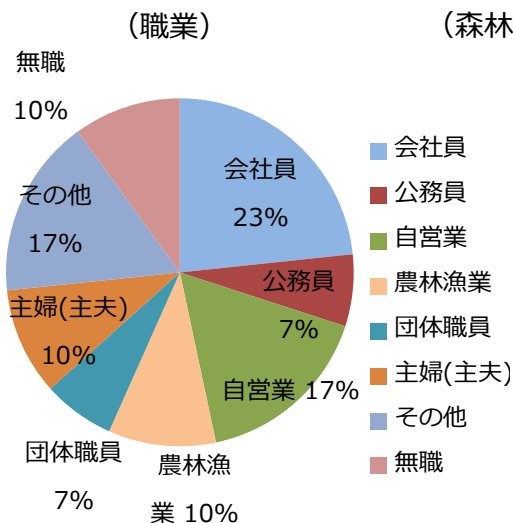


(3) 職業

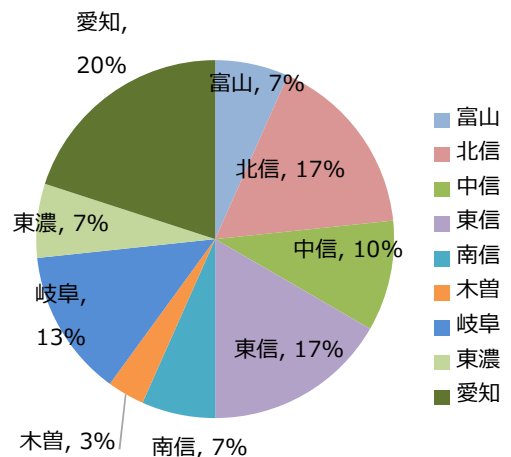
会社員	7人
公務員	2人
自営業	5人
農林漁業	3人
団体職員	2人
主婦(主夫)	3人
その他	5人
無職	3人
計	30人

(4) 森林管理署等別

富山	2人
北信	5人
中信	3人
東信	5人
南信	2人
木曽	1人
飛騨	1人
岐阜	4人
東濃	2人
愛知	6人
計	30人

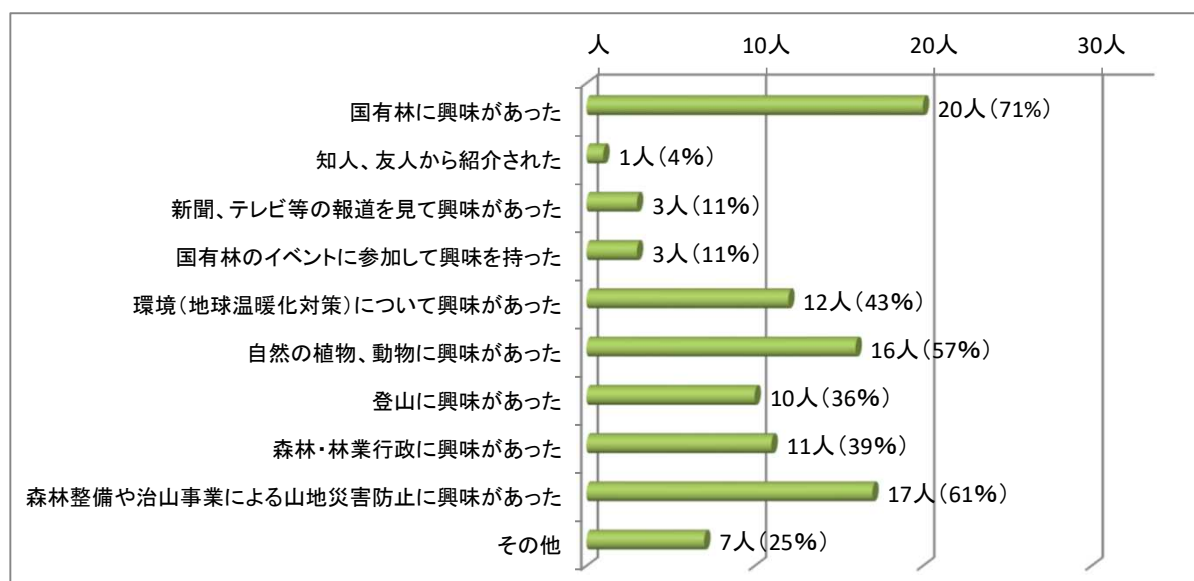


(森林管理署等管内に所在するモニター)



1 国有林モニターへの応募のきっかけ等について

問1 国有林モニターを応募されたきっかけについてお尋ねします。（複数回答可）



◎ その他（上記以外の応募のきっかけ）

○ 森林（植物）が酸素を作ってくれるおかげで我々は呼吸ができます。

その大切な森林を守り、育てていくことは、生死にかかわる大切なことだと考えます。日本の森林の多くを管理している林野庁の仕事を少しでも理解し、残り少ない人生において、森林保全にかかわることができたらと思い応募しました。

○ 育苗、植林はどうしているのか。誰（？）がやっているのか。

どうやっているのかを知りたかった。

○ NHKTV朝ドラ「おかえりモネ」を視聴していて、森林の役割や仕事に興味を持ちました。

○ 地元で開催された植樹祭に参加したこと。

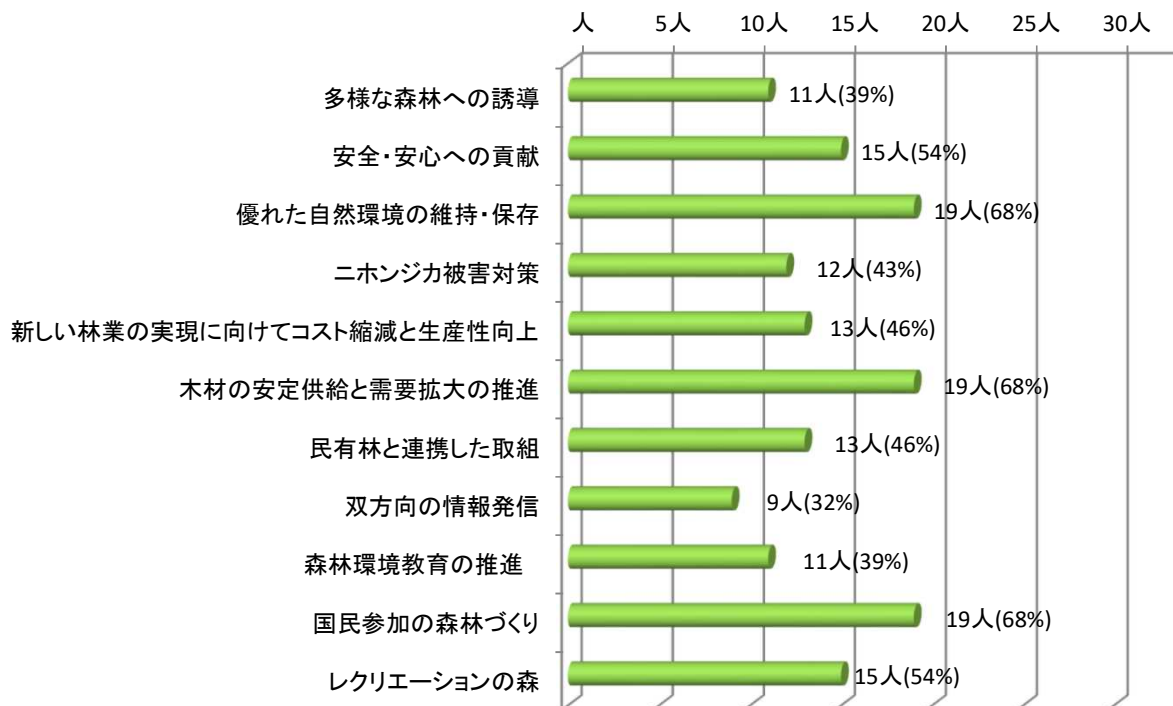
○ 以前、根羽村森林組合を取材して、森を守り、森を育てる仕事に興味を持ちました。

○ 長野県は美しい自然がいっぱいあります。

美しい自然のまま後世あとあといつまでも残しておきたいです。

2 令和4年度中部森林管理局の取組について

問1 業務内容で関心のある取組がありましたら教えてください。（複数回答可）



問2 問1で関心があるとした取組のなかで理由をご記入ください。

【多様な森林への誘導】

【安全安心への貢献】

- 昨年夏に岡谷にて大雨による土砂崩れで3名の方が亡くなりました。
森林による保水はひじょうに大切なことであり、水資源確保における意味でも絶対必要なことです。
豊かな水を守るのは森林であり、安全を担保する意味でも最も重要なことのひとつと考えます。
- 災害のない国づくりは森林整備が大切
それが公益であると考えたから。
- 保水機能等の近年の自然災害に対応した事業なので。
- 昨今の、大きな災害による被害の復旧はとても大変だと感じています。
山が近くにあって、安心してでも暮らせると、いいなと思っています。

【優れた自然環境の維持・保存】

- 人工林、造林も植えばなしでは木も成長せず、崩落も招きます。間伐や枝はらい等管理をし、自然林等多様な植生との共存もはかって下さい
- 管理局の方々の自然環境の維持、保存の努力で私たちが美しい自然にいつも触れられるとわかり、感謝、感謝です。
- 国有林は国の"タカラモノ""国の財産"大事にしたいです！
- 森林は日本の宝。ただし、手入れをして、この先も保持・維持していく仕組みが必要。

【二ホンジカ被害対策】

- 小さな畑を持っています。

市街地からさして離れていない場所（比較的街中）ですが、しばしば畑にシカが現れます。

対策を考え、しらべているうちに山野との関係が深いと知りました。

山が豊かであれば、人里には、現れないのでしょうか。

かつて存在した、天敵のオオカミの絶滅が原因の1つと聞き、自然界のバランスと共存のむずかしさを知りました。

- 「二ホンジカの被害対策」については、山を歩いていて驚くほどの被害の状況に遭遇するから。

【新しい林業の実現に向けてコスト縮減と生産性向上】

【木材の安定供給と需要拡大の推進】

- 特に地元公民館建設で、国産材を使いたいと考えており、それに関連する事業に関心を持っています。

【民有林と連携した取組】

【双方向の情報発信】

- 国有林の国民（ニーズ）との共通認識
- より多くの人々への啓発活動が消極的ではないかと感じている。

【森林環境教育の推進】

- 幼児等への年少の時から教育が必要と思っている。

【国民参加の森林づくり】

- 国民一人ひとりが意識を持ち取りくむ必要性を感じたため。
- 自分で植樹した木を将来にわたって感心を持って見守ることが出来るから。

【レクリエーションの森】

- 広大な国有林のレクリエーションの場としての活用に興味がある。
 - レクリエーションの森は行きたい所ばかりで、国民が楽しめる森として整備、管理されているのはすごいと思いました。
- 身近な戸隠での森の活用があった。

「国有林」ということを知らない人が多いのではないか？と思った。私自身も、知らなかった1人。ここで、具体的にどんなことを中部森林管理局がやっているのか？（土地を地元に提供している 他は？）知りたい。

【その他】

- スギ・ヒノキの有効利用と、放置したままの場合、災害が心配。
- 富山県や岐阜県は、国有林が多いなど、改めて実感しました。
- 国土面積の2割、森林面積の3割を占めている国有林は国民にとって大変に貴重な財産だと思います。そのようなことから、国有林の様々な形での公益的な役割と機能をさらに高めるとともに、そのことを広く国民に理解していただけるような活動を継続的に展開していくことを期待することが理由に挙げられます。

- 森林を取り巻くいろいろな環境の変化や課題は、私達の行動・生活の変化に関連していると言われる。
 これからの次世代のためにも、豊かな自然、大切な森林資源を保守維持するため、自然環境問題を見つめ考える。
 そうした視点で森林に関連する課題に興味関心を持ちたい。
- 「自然豊か」「環境に恵まれた」といった言葉を耳にしますが、近年の異常気象に伴い、安心・安全といった意味で森林環境を見直していく必要があると感じています。また、多くの人が森林環境に関心をもつ必要性も感じています。
- 生物の多様性と人との共生をどう図っていくか。クマの人里への出没は大きな関心事です。一方で民有林にはかつて植林されたまま放置されたものが多くあり木材不足の今、何とかこれを利用できないものかと感じています。
- かつて職場が土砂崩れにあったことがあり、災害防止の意味において安全安心はもちろんですし、害虫被害も問題と思っています。日本の美しい森を守りながら、森林に国民が足を運ぶ機会を作ることでもある大切なことだと思います。
- 実家が山の中です。
 大雪、大雨、整備が追いつかない等でななめになった木も散見されます。
 それでも切りはらわれ、土がむき出しになって、土砂くずれの心配があるよりはましなのではないかと思うくらい、一時的な利益のためだけに使われた山が痛々しいです。
 ずっと日本の山と生きていくという覚悟ある人達のために、民間とも連携して守っていただきたい。
 そのような理由で、上記の選択をしました。
- 3（3）（4）はイメージがつかないから。
- 皆がもっと関心を持って足を運ぶことで、経済も回る様になる仕組みがあればいいと思うから。

問3 問1の各項目以外に国有林で実施したら良いと思われる事業・業務等がありましたらご記入ください。

- 木材の里親制度、投資、アウトドアイイベント使用許可の内容の見直し。
- 別刷りの「花粉症対策の推進」は積極的に展開して欲しく思います。
- ゴミの不法投棄の観視
- 間伐を兼ねたキノコ原木の販売（現在もされていると思いますが）
 民間企業と組んだ森林浴開発
 間伐材を利用した発電（コマーシャルベースになるかどうかは不明）
- より多くの人に森林に興味をもってもらうよう、何らかの形で人が森に入り易い企画があれば良いと思う。勉強会とかボランティアなど、間伐、草刈り、登山道整備、ゴミひろいetc. イベントのための林道開放、NPOイベントのための森林開放、素人の山仕事などプロに比べると微力だが山林、国有林防災の啓蒙、森林管理局の仕事への理解を得るには一人でも多くの一般人が入山することが有効と思う。
- 民有林への指導
- 森林環境税の広報イベントを実施すべき
 国民の多くが森林環境税を知らないから、又森林環境譲与税の配分金は、使いみちが、いまひとつはっきりしないから

- 国民参加の森林づくり
- やはりいつも自然に接している方々の日常や年間通しての森林の移り変わりを情報としてメディアに流してほしい。
- 花粉症対策（農林水産省に入省した後輩にも林野庁に異動してスギ、ヒノキを全てできると言っている人がいた。国会議員を含み、林業や林野技官以外のヘイトの対象になっている気がするので、林野庁の予算（補正こみ4千億（令和3年）からもう少し花粉・発生源対策推進事業（令和4年1億）にまわして欲しい。
- シカやクマの被害のニュースを、よく聞くようになりました。
捕獲も必要ですが、野生動物が、安心して暮らしていける方法はないのでしょうか？
共存していけたらそれが理想なのですが、。
- 「国民の森林」として、国有林がとても身近な存在であることを伝える取組を更に強化して頂ければと願っています。例えば、国立公園については、その存在を国民は良く理解していますし、レクリエーションの場として広く利用しています。また、その管理を環境省が担当していることも、皆、良く知っているかと思います。一方、国有林がその現場であるという事をどれだけの人意識しているかというところちょっと疑問です。そのような中で、御局が「国有林おさんぽMAP」等の情報発信を行っていることは評価できますが、これについても、どれだけの人存在を知っているのでしょうか。端的に申し上げますと、国有林の価値と魅力をより積極的に多くの人達に伝えることに、さらに注力をしていただきたいということが願いとなります。また、それを切っ掛けに、環境、水源、防災、そして、資源供給の場としての国有林への国民の認識が高まれば良いと願っています。
- キャンプのたき火用木材を日、場所を決めて自由に採取出来るイベント。
- 管内の地公体との連携強化
実施予定の行事活動の広報PRについて広く告知
案内するため地公体のメディア等を利用活用する。
- 農水省では、肥料高騰に対応する取組を検討されていますが、間伐材などのチップ化に合わせて、バーク堆肥等の堆肥化をもっと進め、有機肥料を安価に提供できないものかと思います。農水省では、肥料高騰に対応する取組を検討されていますが、間伐材などのチップ化に合わせて、バーク堆肥等の堆肥化をもっと進め、有機肥料を安価に提供できないものかと思います。
- 豊かな森を育む時にそこに棲む哺乳類や鳥類、昆虫、植物などの紹介はあるかと思いますが、優れた土壌を作る土壌動物の紹介がないように思います。また、水の循環も森との関係もおもしろいと思います。
伝統工芸品や民俗に関する紹介の中で古来からの人と森のかかわりも紹介したらどうでしょうか。例えば、漆器は、木地から漆採取などもあります。また、奈良時代の技法の乾漆も漆があつての技法と思います。
- 今国内の輸入材木が高騰しているので、木材の安定供給のため、国有林からの供給を増やしてほしい。
- 林業人材をどうしたら確保できるのか。
林業という仕事で生きていくことの魅力・課題。
重要な仕事なだけに、人づくりのための取組。
- 近年見た事のない場所で鹿を多く見かけるようになりこれ以上鹿被害が出ないように、考えてゆければ森の中でとどめられるような取組 猿
- 森林セラピー

問4 ご覧いただいた「令和4年度中部森林管理局の取組」で改善すべき点、感想などありましたらご記入ください。

【改 善】

- 木材の安定供給、ブランド化は、それ自体良いのですが、より低価格での供給も図っていただきたく思います。
- 木材の自給自足に力を入れて欲しいです。（自国の木材を自国で、消費する）
また、古民家などの立派な古い木材の活用も考えて欲しい。
- 地域へのPR活動を積極的に
- 広報程度の紙質、かつ冊子状にしても良いと思います。
- 自然休養林の施設充実
- 森林環境税の周知徹底というのは、県で導入されている森林環境税は私たち平野部に住む国民としては、山林のある地域のみにつかわれているという認識であるので、もっと広報したほうがよい。たしかに、配分金は平野部は少ないが有効に使っていることを広報すべきだと思う。
- 小学生でもわかるように簡単に作って欲しい。具体的には、森林組合（非公務員）の理事長が読んでも理解できるレベルにして欲しい。
文字が小さすぎる（70代以上の人だと文字が小さすぎる）。漢字が難しすぎる。
国会答弁か議員レク資料みたいな誰にでも分かって文字が大きい資料
中身はとても素晴らしいと思います。
- レクリエーションの森の存在を、初めて知りました。
どこかに訪れたいくなりました。
もっともっと、知る人が増えて、自然の素晴らしさを知ってもらえるとといいなと感じました。拡大して下さい。
- 「国民の森林」としての経営管理の部分の記載が他の項目に比べて弱いので、新たな取組等を含めて、より具体的に記載すべきかと思いました。
- 一年間の取組だけでも多様多岐に亘る内容で、業務が幅広いと感じる。管内面積も広大で防災課題も年々重要度が増している。こうした取組を広く多くの人に知ってもらうことも取り組みの検証と考えます。
- 航空レーザー計測データの活用という面で、一般の人でも利用（閲覧）することができるのでしょうか。また、最近ではドローンを使った調査が幅広く行われるようになり、調査にかかる時間も短縮できているようで、調査結果が広く活用されることを望みます。
- おおまかな取組について知ることができた。
より掘り下げて知りたい人のために、関連するホームページの箇所へのリンクが項目ごとにあったらどうだろうか？

【感 想】

- ビジュアル化した説明で、分かりやすく関心が持てる。
- 中部森林管理局がさまざまな取組を実施しているにもかかわらず、今回モニターになり、たくさんの資料をいただくまで事業の全体像が分かりませんでした。中部各県の持ち回りでもよいですから、県民が事業や活動を知ることができるイベントがあってもよいかと思いました。ただ、富山県においては、私は参加ができませんでしたが、今年開催された新川森林祭はよい企画と思いました。

- 県土面積に対しての国有林面積、は概要にあったが、森林面積に対する国有林の占める割合、も知りたい。

そもそも、民有林・私有林と比率すら分かっておらず…

問5 中部森林管理局管内（長野県、富山県、岐阜県、愛知県）の国有林で訪れてみたい場所がありましたらご記入ください。

- 長野県 木曽、富山県
- どこにも関心があります。
- 木曽 悠久の森
- 木曽の赤沢自然休養林
- 岐阜県、東濃地方のヒノキ人工林
- 神通川森林計画区（行く機会がないのが理由）
- 富山県（見たことがない）。
- 国有林モニタの紹介で、はじめて、岐阜の金華山に国有林があるのを知っておどろきました。

岐阜県の国有林に訪れてみたい。

まず、身近な所を訪問したい。

- 戸隠・大峰自然休養林
- 全部
- 地元、愛知県を中心に来訪してみたいです。
- 戸隠・大峰自然休養林
- 長野
- 子供のころに、くらがり溪谷へ出かけたことがあります。

ここだったんだと、うれしくなりました。

自然に囲まれて、とても素敵なところでした。

良い思い出が、もっと良い思い出となりました。

国有林とは知りませんでした。

機会があれば、もう一度、行ってみたくなりました。

- 私は長野県東御市に在住していますので、まずは身近な場所として東信森林管理署の管轄下の国有林で具体的にどのような経営管理や連携活動が行われているかを具体的に知りたいと願っています。その上で、他地域として訪れたい所は、木曽地域や飛騨地域です。その理由は、東信とはまったく異なる地勢や植生を有している国有林であること、溪谷や急峻な山としての景観に優れていること、歴史的や文化的に優れた特徴があること、さらに噴火や豪雨による山地災害の現場である事等などから、非常に見るべきもの、知っておくべきことの多い地域かと思っています。

- 長野県 木曽森林
- 御柱の森
赤沢自然休養林
- 御嶽山、赤沢
- 巨木がある森を見てみたいです。木曽ヒノキの美しい森も魅力的です。
- 長野県
- 地元、長野県の国有林について、訪れて、現地でお話を聞いてみたい。
- 長野県 赤沢自然休養林コース
- 富山は山もあるが海のイメージが強い 長野県の国有林とは違ったイメージがある
- 犬山・八曾自然休養林コース
- 中央アルプス

3 広報誌「中部の森林」について

問1 中部森林管理局の活動報告や取組、お知らせ等を知っていただくために、広報誌「中部の森林」を毎月発行しています。ご覧頂いて以下について意見等がありましたらご記入ください。

- ☐ このままが良いです。
- ☐ シリーズ 今は昔の林業が良いです。
昔は、林業に携わる人も多く、いろんな話を聞けたはず。
今は、林業に携わる人を知りません。
いろんな事を伝えるためにも続けて下さい。
- ☐ 4月号の紹介・・・それぞれの方々にそれぞれの人生があり精一杯生きてきたことを感じます。
また、新規採用者の方々、大志を持って入られた以上、精一杯行動し、実りある人生を切り開いていただければと願っています。
4月号 今は昔の林業・・・戦前の様子が感じられました。当時は積み込みにも苦労されたことでしょう。
5月号 P16 硫黄岳というだけあって、火山なのですネ。北アルプスも最近噴火しましたネ。
5月・6月の表紙の写真いいですネ。
6月 P8・・・中学生のころ、区の財産区で植林していたのを思い出しました。年5回くらい出ましたネ。
- ☐ 分かり易く大変良好と思います。
- ☐ 現状で良いと思います。
- ☐ 表彰の記事が多い。
必要性が不明。
「中部の森林」をより多く紹介して欲しい。
- ☐ 大変たすかっています。よみやすい。
- ☐ 親しみやすく、読みやすい。内容も他局の広報より数段良い。
- ☐ 表紙の写真には文字を入れないで写真そのものを見せてほしい気がする。
写真のインパクトがやや下がる気がする。
- ☐ 文字が小さい。情報つめこみすぎ。
読む側が、どの情報が重要かわからなくなる。
- ☐ 見やすくきれいでした。
- ☐ 表紙の写真がきれい
中部の保護林を知るきっかけになりました。
- ☐ 特に気になったところはありません。とても、読みやすいと思います。
- ☐ 管内各地の行事活動の状況様子を、カラー写真でよりわかりやすく表示できていると感じる。
各ページ毎にある「森林関連用語」を解説する文章を数ヶ所折り込んではどうでしょうか？理解度がアップすると思います。
- ☐ 大変見やすいものとなっています。シリーズの「森林官からの便り」「私の森語り」「今は昔の林業」「中部の保護林」は大変興味深く、バックナンバーも見たいと思っています。
- ☐ 表紙に大きく写真を掲載しているので、目立つ表紙と思いました。ただ、表紙の写真と掲載された内容が連動していればもっとよいかと思います。
紙面全体では、写真も多く興味を引くと思います。中部の保護林や私の森語りは興味深く拝見しました。

- 写真もきれいで、図表なども多くみやすい。
ただ、内容が社内報的なものなので内容の理解が難しい部分もある。
- 読みやすくわかりやすいです。写真がすばらしいです。楽しみです。
- 読みやすいです。
- 紙質もよく、カラーなのは（ぜい沢！）良いと思うが、色合いがにぎやかなので、もう少し落ち着いた感じでも良いのでは、と個人的に思う。
- ◎ その他 広報誌で、取り上げるべきテーマ等（森林の保護、獣害対策、レクリエーションの森、花の写真など）がありましたら、ご提案をお願いします。
- 国有林を利用したアウトドアイベント
- 国有林と里山
望ましい姿の地域があればご紹介（記事掲載）ください。
- 森の木と遊ぶ。
木の实を使ったり、リースを作ったり。
- ウッドショックによる木材の供給の推移と着工状況について知りたい。
国立競技場は材木を多用して作られているようですが、どの程度の量が使われているのでしょうか？・妻籠町並み交流センターのような材木を作った珍しい建築物の掲載。
- 森林の保護対策、獣害対策はどのように実施しているか。
- 間伐、主伐（植林）の状況
レクリエーションの森等で行うイベントの紹介
- テーマがお役所的でつまらない。
内容が専門的でわかる人だけよめばよい的なところがあるので、中学生にもわかるくらいのレベルで書いてほしい。
グルメな店の紹介とか歴史的なこと たとえば源平合戦木曾義仲のことをかくとか、山にとらわれず、海や川についても記載してほしい。
- ビオトープの森林版ができると、そう考える時があります。
- 千曲川の災害その後、御嶽山の現状なども教えてほしい。
- ぜひ出かけて、写真を撮ってきたいです。
- 国有林内にある樹種毎の名木の紹介。国有林で生産された銘木とその利用（先）。
国立公園とそこでの国有林の位置付けの紹介。国有林を利用して先導されている最新林業技術の紹介
- A I 活用のスマート林業、先進事例などの各地の取組状況の紹介・案内など。
- 各国有林での一押しの写真のコーナーはいかがでしょう。
- 四季折々の森の風景、国有林のプロだけがみることのできる景色があると思うので、それをみてみたい。（花、鳥、コケ、、etc）
- レクリエーションの森 全87か所 それぞれを紹介して頂けたら。
"レクリエーションの森"（日本美しの森）・・・初めて知りました（認識しました）。

4 メールマガジンについて

問1 中部森林管理局メールマガジンをご存じですか。

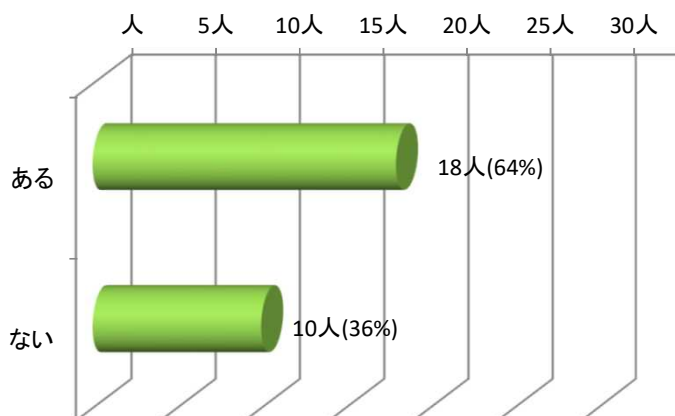


問2 中部森林管理局メールマガジンをご覧ください、感想や改善すべき点、掲載内容のご提案等がありましたらご記入ください。

- ☐ 特にありません。写真が多いのは良いと思います。
- ☐ 今回登録しました。
- ☐ 現状で良いと思います。
- ☐ 文字が多いので抜粋して読んでいます。
- ☐ 知らなかったのですが、メールマガジン登録しました。
- ☐ メールマガジンの登録を行いました。
- ☐ 今回登録しました。
- ☐ 今から登録します。

5 ホームページについて

問1 中部森林管理局のホームページをご覧になったことはありますか。



問2 よくご覧になっているサイトがありましたら教えてください。

- ☐ いろんなものを、その都度見えています。
 - ☐ 巨木、森林鉄道、昔の伐採、運搬などは興味深く見えています。
 - ☐ レクリエーションの森
 - ☐ 特にありません（たまにみる程度です）
 - ☐ レクリエーションの森、国有林おさんぽMAPなど。
 - ☐ 新着情報
 - ☐ プレスリリース
 - ☐ 今回初めて見ました。
- レクリエーションの森は、とても良かったです。

- これまで、注目情報、報道・広報、森林管理局の仕事等については見て来ましたが、それ以外の部分については、あまり見たことがありませんでした。今回、デジ森等を見させていただき、すでに希望として掲げたことの多くが、ここに掲載されていることを知りました。そうなりますと、課題は、どのようにしてそれぞれのページに多くの人達を誘導して連れてくるか、ということになるかだと思います。ネット上での検索リンクに上手に引っ掛かってくるような仕組みを作っていくことも大事かと思いました。
- 国有林おさんぽMAP
- 国有林おさんぽMAP
デジ森NOW！
- デジタル森林紀行、国有林お散歩マップ、信州のカラマツ撮影地マップ
- 「国有林おさんぽMAP」や「見どころビューMAP」など、地図が好きでみてみたが、せっかく国有林のプロがつくるならば、ここにこんなすごい木がある、お花畑があるなどのように、一般の観光MAPとは異なる視点からのMAPだと楽しめると思う。（今はルートと写真だけで魅力がわかりにくい。）写真に加えてコメントがあるとか、、よいコンテンツになると思うので、期待しています。
- 国有林おさんぽマップ

問3 ホームページをご覧ください、ご感想や改善すべき点、掲載内容のご提案等がありましたらご記入ください。

【感想】

- 気分転換に見ています。
- 八丁坂の残雪、暑い夏の今年には、ひとときの「涼」を与えてくれました。
- デジ森の写真は素晴らしいですね。コロナ禍、いやしになりました。
- HPは情報が多くても、興味がある人しか読まないのによいと思う。
- とても見やすかったです。
- 見やすいと思います。

【改善】

- ホームページ（中部だけでなく林野庁全体）やYouTube、Twitter、Facebookなど、良いコンテンツと思いますが、一般の人への周知がいまひとつと思う。
フォロワー数が決して多いとは言えない。
- 認知度を高めて欲しい。
- 全体的に堅くるしいので、一般国民向けにしてほしい。できれば、ユーチューブを多用してほしい。
たとえば、ゆるキャラとか、恋するフォーチュンのダンスとか、職員が前面に出てPRして下さい。
- 掲載内容が更新日と時差があいているものも・・・
- ホームページのトップページは、やや味気ないですね。本当に必要でアクセスした人にはいいかもしれませんが、ふらっと見にいった人にはおもしろ味が薄いと思います。

6 その他意見・要望

問1 その他、国有林及び国有林野の事業等について、ご意見、ご要望がありましたらご記入ください。

- 国内産木材の供給
- 新型コロナ禍、大変だとは思いますが頑張って下さい。
- 林業マンガ（平田美沙子作）良かったです。
活字よりも、手書きに親しみを感しました。
- 太陽からいただくものすごいエネルギーを我々は日々享受しています。
このエネルギーを日々森林は受け、成長しています。森林が自らの力で成長し、人間は管理をして見守るだけ。成長の本体は森林（樹木）です。
大切に育み、後々の子孫まで受け継いでく必要が現在生きている我々の責務と考えます。尊い地球を残すために、国有林を大切に守っていただきたいと願っています。
- 職員の方が山造りに励んでいる事は広報誌などでもよく分かります。
ところが、一般の方は皆さんの苦労話や国有林の役目すなわち「うまい空気を生み出し、水を生み出し、洪水を防止している」などその役目など余り知られていない。
そこで、地域にある森林管理事務所の方が、それぞれの市町村役場とか、財産区、公民館などの集会に出向いて、地域の国有林のやっている事業内容を説明して国有林事業を啓蒙して下さい。
- 中高年は特にだが、40～50代の人でも森林ボランティアに興味のある人は多い。うまく活用できないものだろうか。（子供向けイベントは数多くあるが、また求人もあるようだが…NPOもあるが紹介でもないとふみ込みにくい。公的なところが最初の窓口になると入りやすく双方にメリットがあるので
- 会議、見学会の予定日ははやめにアナウンスしていただくとありがたいです。
- 現在、大変暑い夏です。林業の仕事の方が熱中症で倒れないように指導して下さい。
- コロナ禍後の取り組み及び事業についてもビジョンを持つと良いかもしれません。（まだ早いかもしれませんが）
- まだまだ知らない事の多い国有林の事、それに携わる方々の仕事ぶりなど知りたいと思いました。
- 国有林野事業が特別会計から一般会計に移行して、ほぼ10年が経過いたしました。それ以前とその後で何がどのように具体的に変わったのか、その結果、良くなったこと、また、課題として残されていること、あらたに発生した課題等をお聞きしたく思っています。また、今後、次の10年はどのように考えているのか、そのあたりもお聞きしたく思っています。さらに、個別には、伐採・造林一貫施業システムへの取り組み、エリートツリー導入への取り組み、山地災害防止あるいは低減化への取り組み、樹木採取権制度への取り組み、木材の安定供給への取り組み等などについてもお聞きしたく、また、現場を見たくも思っています。
- バイオマス発電等の現地の観察会等参加してみたい。
- 具体的なモニターとしての行動がまだありませんのでわかりません。
- 木の再資源利用に関心があります。
- “国有林”と知ったうえで関わったり、意識する機会が一般の人にはほとんどない。「中部の森林」は、専門的要素が強く、もっと身近な内容のフリーペーパー(webサイトでもよいが、まずは知ってもらえないとwebはたどりついてもらえないため。)を発行して、気づいてもらうところからはじめたらどうだろう？
- 「中部の森林」と「林野」毎号楽しみです。
- 「国有林おさんぽMAP」は大変良かったです。暑いので想像しながら地図の上でおさんぽしています。モニターをしなければ知らなかった事がいっぱいあってモニターをして良かったと思います。これから2年間よろしくお願いいたします。

- 税金の使われ方が問題になっている昨今、「森林環境税」なるものも出てきました。
少額なので気付かない気にならない人も多いと思いますが、まとまると当然ですが多額となります。
少なくとも「使途不明金」とならないように納税者の気持ちに沿った使われ方になるよう、きちんと見ていなければと思います。
「森林環境税」は国有林にも使われるという認識でよろしいでしょうか。
- 国民参加の森林づくり（分収造林制度）、もっとアピールしてもよいのでは。
（民間の植樹には参加したことがありますが、国有林はありません）
個人、企業、団体いずれの形でも参加しやすい環境作り…
特にカーボンオフセットなど、環境への取り組みを迫られている企業が森林づくりにこぞって参加する様になれば、効果・インパクト大きいと思います。
毎月たくさん資料を送っていただいています、是非現地視察も実施頂きたいです。
文字（絵）だけでは理解が追いついていません。実際に働いてらっしゃる方、関わっている方の話を是非聞かせて頂きたいです！

まとめ

1 国有林モニターの構成状況について

- ① 参加者を地域別に見ると、富山県7%、長野県54%、岐阜県20%、愛知県20%となっています。
- ② 性別では、男性67%、女性33%となっています。
- ③ 年齢別では、最年少が35歳、最年長が81歳と幅広く参加していただいております。61～70歳が43 %と一番多く、次いで51～60歳が23%、71歳以上が17%、41～50歳が13%、31～40歳が3%の順となっています。

2 国有林モニターへの応募のきっかけ等について

- ① 国有林モニターを応募されたきっかけについて尋ねたところ、20人（71%）の方が「国有林に興味があった」、17人（61%）の方が「森林整備や治山事業による山地災害防止に興味があった」、と回答されています。

3 令和4年度中部森林管理局の取組について

- ① 関心のある取組について尋ねたところ、19人（68%）の方が「優れた自然環境の維持・保存」、「木材の安定供給と需要拡大の推進」及び「国民参加の森林づくり」、15人（54%）の方が「安全・安心への貢献」、「レクリエーションの森」、と回答され、高い関心があることが伺えます。

4 ホームページ、メールマガジンの閲覧状況について

- ① 「ホームページを見たことがある」と答えた方が18人（64%）となりました。
- ② メールマガジンについては、15人（54%）の方が「知らない」と回答されていましたが、国有林モニター参加を機に、新たに登録していただいた方が5名おられました。

5 アンケート全体を通じて

今回のアンケートを通じて、国有林の優れた自然環境の維持・保存、「国民の森林」としての管理経営（レクリエーションの森、国民参加の森林づくり）、木材の安定供給と需要拡大の推進への取組などの内容に、高い関心が寄せられていることが分かりました。

また、これらの取組を広く国民の皆さんに知っていただくための広報活動、情報発信について、幅広く建設的なご意見を頂戴しました。

頂戴した貴重なご意見、ご助言を参考にしながら、国有林野事業を「国民の森林」としてよりふさわしいものとするべく、取組を進めてまいります。